

組み立て
簡単!

絵を描くだけで

オリジナル腕時計のできあがり!

ペーパーウォッチ

工作キット

ボタンを押すと
時間が光る!耐水性
ペーパーで
丈夫!時間・月/日・秒
が表示できる!

●対象年齢 6歳以上

用意するもの 油性マーカーや、色えんぴつなど

⚠ この商品は教育用につくられています。
必ず適切な指導者のもとで使用してください。

紙 台紙
MADE IN CHINA4 521718 559209
教育用 B088600 K0320

株式会社 アーテック

お客様相談窓口
TEL 072-990-5656

組み立て前の準備

- セット内容をよく見て、部品がそろっているかを必ず確認してください。
- 組立説明書を最後まで読んでから組み立ててください。

セット内容

- | | |
|------------------|---|
| ① シール台紙 | 1 |
| ② デジタル時計ユニット | 1 |
| ③ 鉄片 | 8 |
| ④ コイン型電池(CR2016) | 1 |
| ⑤ 固定用スポンジ | 1 |
| ⑥ ベルト用リング | 1 |
| ⑦ ネオジム磁石 | 1 |



動作確認

組み立て前にデジタル時計ユニットが正常に動作するか確認してください。

- 1 デジタル時計ユニットにコイン型電池を挿入します。
- 2 デジタル時計ユニットのボタンを押して白く点灯することを確認してください。



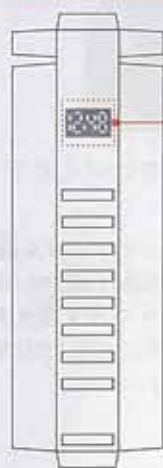
● コイン型電池の向きに注意。



● しばらくすると自動で消灯します。

着色

シール台紙に好きな絵を描いてオリジナルのペーパーウォッチをデザインしましょう。



時間表示部
この部分に時間が表示されます。あまり濃い色で塗ると時間が見えにくくなるので注意してください。

- 着色には油性マーカーや色えんぴつを使ってください。水性マーカーや水彩絵の具などは色がにじんだり色落ちすることがあります。

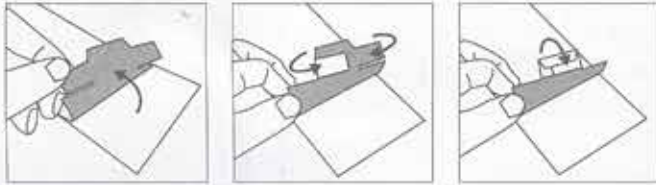
⚠ 注意 ご使用前に必ずお読みください (保護者の方も必ずお読みください)
この説明書を必ずよく読んで、順番や注意を守ってください。

- 磁石を飲み込まないように注意してください。磁石を飲み込むと窒息の危険があり、体内で滞留すると、開腹手術が必要になる恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。誤飲防止の為、お子さまの手の届くところに磁石を置かないでください。
- 窒息の危険のある小さな部品が入っています。小さなお子様があやまって飲み込まないように注意してください。
- この商品の保管の際は、温度の高い所・湿度の高い所・直射日光が当たる所・小さなお子様の手の届く所に置かないでください。
- 入っているもののふちや角で、手を切らないように注意してください。
- 発熱や動作不良など商品に異常が見られた場合は速やかに使用を中止してください。
- 可燃性ですので、火気の近くで使用、放置はしないでください。
- 磁石を各種電子機器に近づけると、正常な動作が妨げられたり、故障につながる可能性があります。近づけないでください。

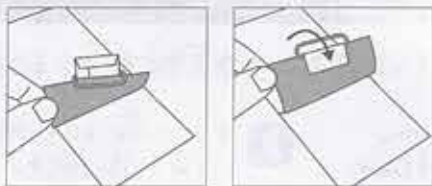
組み立て方

1 ベルト用リングの取り付け

①シール台紙を少しはがして、羽部分を折り曲げます。

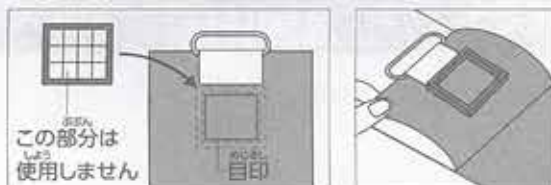


②シール台紙にベルト用リングをとおして、折り曲げます。



2 デジタル時計ユニットの取り付け

①固定用スポンジをシール台紙の四角の目印の外側に貼り付けます。

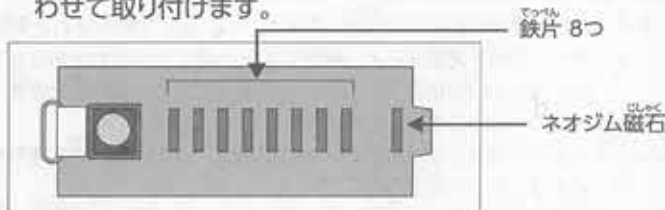


②固定用スポンジの枠内にコイン型電池をセットしたデジタル時計ユニットを取り付けます。

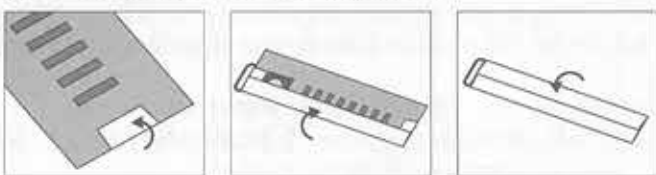


3 鉄片・ネオジム磁石の取り付け

①シール台紙をはがして、鉄片とネオジム磁石を目印に合わせて取り付けます。



②シール台紙を折り曲げて完成です。

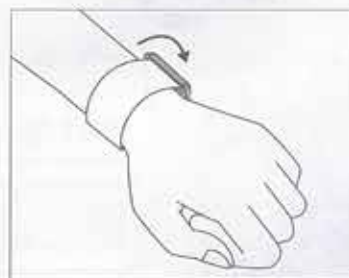


使用方法

●腕への取り付け



①ベルト用リングにベルトの先を通します。



②折り返してネオジム磁石と鉄片をくっつけて固定します。

●時計の表示

ボタンを1回押すと5秒間表示点灯したあと表示が自動で消灯します。ボタンを押すごとに「時間」→「月/日」→「秒」の順に表示が切り替わります。



●表示の設定

- ①時計が表示されている状態で、ボタンを長押し(3秒)すると設定モードになります。
- ②表示が点滅している間にボタンを押すと1回押すごとに時間が進みます。時刻をあわせたら、再度ボタンを長押ししてください。
- ③②を繰り返して以下の順番に設定を行ってください。
時間→分→年(20××年)→月→日
- ④すべて設定が終わったら時計表示に戻ります。



使用上の注意

- シール台紙は撥水加工がされており、汗や雨などの水滴に対しては保護されていますが、完全防水ではありません。故障の原因になりますので、水につけたり液体をかけたりしないでください。
- 電池の交換はできません。